

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月13日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>○シチズンシップ教育と連携した新科目「公共」の研究を推進し、主体的に学ぶ意欲が向上する教育課程編成を実践する。</p> <p>○シチズンシップ教育を通し生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、社会に参加・貢献する能力と態度を育成する。</p>	<p>○生徒の興味と関心を高め、わかる授業を実践するとともに、教授法や教材を工夫し、生徒の主体的な学びを促す。</p> <p>○言語活動を充実させた授業を通じ、習得した知識、技能を適切に活用し、積極的に情報発信できる力を身につけさせる。</p> <p>○共通テーマに基づいた研修・研究計画を立て、教科間や教員間で指導力を高める。</p> <p>○生徒の読書活動推進と図書貸し出し数の増加に向け、図書館からの情報発信や読書関連の企画を工夫する。</p> <p>○生徒の課題解決能力の育成と、新科目「公共」の研究を推進し、主体的に学ぶ意欲が向上する教育課程の作成を進める。</p> <p>○授業の質と量を保障するため、年間授業計画の見直しや時間割作成の工夫を行う。</p>	<p>○スタディーサポートを活用し、その結果を学年・教科等、職員全体で共有し検討会を実施する。</p> <p>○アクティブラーニングによる生徒参加型授業を研究・推進する。</p> <p>○図書館広報誌の発行や、新刊図書のリスト掲示、図書のテーマ展示に取組む。また、教科と連携し、図書館利用を積極的に呼びかける。</p> <p>○模擬投票、ハイスクール議会等のシチズンシップ教育の取組を通して、生徒の社会参加に対する能力や態度を育成する。</p> <p>○広義のシチズンシップ教育を推進し、主体的に学ぶ意欲を向上させ、確かな学力を定着させる。</p> <p>○学校行事の教育課程上の位置づけの見直しを行う。</p>	<p>○スタディーサポートの結果の検討が授業実践に生かされたか。</p> <p>○「双方向授業」「参加型授業」など、アクティブラーニング手法による授業実践に向けた各教科内の取組が進んだか。(取組状況)</p> <p>○図書館広報誌の発行や、新刊図書のリスト掲示、図書のテーマ展示が前年度より進められたか。</p> <p>○図書館利用者数を増加させることができたか。</p> <p>○シチズンシップ教育の取組によって、政治参加の意欲が高まることのできたか。(生徒向けアンケート実施による肯定意見60%以上、生徒有権者の投票率50%以上を達成できたか。)</p> <p>○すべての教科・科目において広義のシチズンシップ教育を取り入れることができたか。</p> <p>○授業時数を35週に近づけることができたか。</p>	<p>○年2回の生徒による授業評価の結果を参考とした授業実践の取り組みが進んだ。</p> <p>○新たな取り組みの授業研究会によって、アクティブラーニング手法による授業実践の拡大を図った。</p> <p>○シチズンシップ教育の取り組みに対する生徒による授業評価の結果は、85%を得た。また、模擬投票は83%が参加し、生徒の政治参加の意欲を高めることができた。</p> <p>○すべての教科で広義のシチズンシップ教育に取り組み、生徒が積極的に社会に参加・貢献する態度を育成した。</p> <p>○生徒、職員の発表によって、地域の生徒や職員に新科目「公共」に対する本校の取組内容を伝えることができた。</p> <p>○内容を大幅に変更した新刊図書のリストを盛り込み、掲示もより個人の目に触れるようにした。</p>	<p>○今後も更に生徒が授業に主体的に取り組むことができる授業を展開する。</p> <p>○授業研究会の内容や実施時期等を検討し、教科間や教員間で指導力を高めていく。</p> <p>○模擬投票の行われないう年度の取り組みも検討する。</p> <p>○更に、一層広義のシチズンシップ教育を推進し、生徒の社会参加への意欲を高めるプログラムの開発と実践を行う。</p> <p>○新たに「公共」の研究開発校としての取り組みを広く発信していく。</p> <p>○図書館広報誌の発行回数を増やし、より読みやすい紙面作りを心がける。展示の仕方を工夫することでさらに興味を引くものにする。</p> <p>○新刊図書の整備活動に全図書委員を活用できなかつたので、計画的に進められるようにする。</p>	<p>○新科目「公共」の研究推進において、生徒が「地域のために何が出来るか」を積極的に考えることができるような指導を行うことで、「活きてはたらく公共」が実現できるのではないか。</p> <p>○校長をはじめ職員全体が地域の行事に積極的に参加されており、このことは活かされた公共に資するのではないか。</p>	<p>○生徒の興味と関心を高め、生徒の視点に立ったわかる授業の実践が進み、授業の質を高めることができた。</p> <p>○シチズンシップ教育の取り組みは授業評価の結果、肯定意見85%を得た。また、模擬投票は83%が参加し、3年前の投票率を大きく上回り、ハイスクール議会や模擬裁判の取り組みも含め、生徒の政治参加の意欲を高めることができた。</p> <p>○横須賀三浦・湘南地域の学習発表会において、生徒、職員の発表によって、地域の生徒や職員に新科目「公共」に対する本校の取組内容を伝えることができた。</p> <p>○図書委員の協力を得て速いペースで整備ができ、国語科や総合的な学習の時間などで積極的な図書館の利用があった。</p>	<p>○生徒による授業評価の結果を数値的に明確にわかるようにして、授業改善に結びつける。</p> <p>○授業研究会の時期を見直し、質を向上させて、授業改善の一層の向上に結びつける。</p> <p>○模擬投票は、参議院選挙に合わせて行われるので、模擬投票の行われない年度の取り組みも検討する。</p> <p>○新科目「公共」に対する本校の取り組みをホームページ等により明確に発信していく。</p> <p>○図書館広報誌の発行回数を増やし、より読みやすい紙面作りを心がける。展示の仕方を工夫することでさらに興味を引くものにする。</p>
2 生徒指導 ・支援	<p>○心身ともに健康で心穏やかに過ごせるように、不安や悩み、様々な課題を抱えた生徒が自ら課題解決できるよう支援する。</p> <p>○充実した高校生活を送るために、部活動や学校行事を活性化させる。</p>	<p>○あいさつを通して、心がふれあう安心できる学校づくりに努めるとともに、安全で清潔な教育環境を整備する。</p> <p>○課題を抱える生徒に対する支援を充実させ、教育相談におけるチーム支援体制を構築する。</p> <p>○部活動や学校行事の活性化をすすめ、高い部活動加入率を維持する。生徒が活動に主体的にかかわ</p>	<p>○職員、生徒間のみでなく、来校者に対しても、挨拶ができるようにする。</p> <p>○清掃活動を徹底し、校内の教育環境を整備し、安全の確認を行う。</p> <p>○スクールカウンセラーや外部機関との連携し、チーム支援体制を整備する。</p> <p>○生徒個々に応じた支援を充実するため、コア会議を開催する。</p> <p>○学業と部活動の両立と部活動加入率80%以上を</p>	<p>○生徒がしっかりとした挨拶ができ、清掃活動の徹底ができたか。</p> <p>○スクールカウンセラーの効果的な活用や外部機関との連携がとれたか。</p> <p>○定期的にコア会議を開催し、職員全体で情報を共有できたか。</p> <p>○部活動加入率80%以上を維持し、活発に活動することができたか。</p>	<p>○しっかりとした挨拶ができ、清掃活動にも積極的に取り組んだ。</p> <p>○スクールカウンセラーや外部機関を必要に応じて活用した。</p> <p>○充実したコア会議が開催でき、生徒の行動等に気を配るきっかけとなった。</p> <p>○部活動入部80%以上を維持した。</p>	<p>○校外においても気配りに心がけ登下校時のマナー向上を目指す。</p> <p>○コア会議の定期的な開催に向けて、各学年等の担当者が時間割の中で集まれるようにする。</p> <p>○学業と部活動の両立をはかれるよう支援体制を整えていきたい。</p>	<p>○「生徒本人の意欲」をどう伸ばしていくのか検討を進めたい。</p> <p>○部活の盛んな学校は良い高校とよく言われており、近年の本校における部活動加入率の低下が気になる。</p>	<p>○シチズンシップ教育の一環とした社会人教育の充実が見られた。</p> <p>○コア会議の開催、スクールカウンセラーとの連携による支援、外部機関の効果的な活用により生徒支援の充実を図ることができた。</p> <p>○部活動入部率は維持できたが、参加率の若干減速傾向にあ</p>	<p>○校内だけではなく、学校外での規範意識や社会性を身に付ける取り組みをあらゆる教科でプログラムする。</p> <p>○コア会議の定期的開催を目標に各学年等の担当者が時間割の範囲内で集まれるようにする。</p> <p>○定期的な「生</p>

			<p>ることで得る充実感や達成感を高め、たくましく生きる力を育成する。</p> <p>○部活動や学校行事への生徒の主体的取組を支援する。</p>	<p>維持するために活動環境を整備し、学習面でのサポートも充実させる。</p>	<p>○部活動の安全点検の実施を確実に行ったか。</p>	<p>○部活動時に大きな事故が発生しなかったことは安全点検の成果である。</p>			<p>る。</p> <p>○部活動中の怪我等が増加傾向にあるので、安全マニュアルによる「安全点検の徹底が必要である。</p>	<p>徒状況調査」を実施する。</p> <p>○学業と部活動の両立を図れるよう支援体制を整える。</p>
3	進路指導・支援	<p>○進路実現に向けた環境を整備し、生徒自らがキャリアプランに基づいた教育活動を実践する。</p> <p>○キャリア教育の充実により、学ぶ世界を広げ、社会とつながる力を培い、質の高い進路実現を図る。</p>	<p>○キャリアガイダンス(進路説明)とキャリアカウンセリング(進路相談)の充実により、主体的な進路選択能力を高める。</p> <p>○生徒のニーズに応じた講習や模擬試験も実施し、より高いレベルでの生徒の進路実現を支援する。</p> <p>○キャリア教育を推進し、インターシップやボランティア活動・校外講座への参加者を増やすための方策を検討するとともに、体験の成果を発表する機会を充実させ、社会とつながる力を育成する。</p>	<p>○より充実した進路説明会、進路相談の実施を目指す。改善点の検討を行う。</p> <p>○進路相談についての研修を実施する。</p> <p>○家庭学習の充実と計画的な取組を促すツールの提供を行う。</p> <p>○生徒・保護者向け進路便りの発行を定期的に行う。</p> <p>○夏期・冬期講習、平日・土曜講習の実施を充実させる。</p> <p>○出願指導等の充実を図るための3学年担任向けの研修を実施する。</p>	<p>○生徒の進路選択・進路実現が達成できたか。(志望校決定及び志望校進学状況)</p> <p>○研修が三者面談に生かされたか。</p> <p>○効果的な学習に取り組む生徒が増えたか。</p> <p>○生徒・保護者向け進路便りの発行を定期的に行うことができたか。</p> <p>○長期休業中の講座、平日講習・土曜講習への参加数が増えたか。</p> <p>また、学習意欲向上のための方策を講じることができたか。(講座受講者数、取組状況)</p>	<p>○A0・推薦入試等で約4割の生徒の進学が決定した。</p> <p>○夏期講習は、27講座を実施して、多くの生徒の参加があった。2学期も継続する講座や新たなネタ対策の講座が土曜日を中心に実施された。また、受験科目の補講や小論文・提出課題の指導、面接指導を日常的に実施した。</p> <p>○今年度も校内模擬試験(進研模試・5回実施)を多くの生徒が受験した。</p>	<p>○出願指導の充実を図るため3学年担任の出願指導の研修を行い、高い目標を目指した生徒の進路実現に向け準備していく。</p> <p>○1・2学年についても、センタープレ模試の校内実施、先輩による合格講話等、進路意識の向上に向けた取り組みを継続する。</p>	<p>○進路実績については先生方のきめ細かい指導が奏功していることが考えられる。</p> <p>○職員室前の自習コーナーは定着したが、落ち着いて勉強できる自習室がなく、ぜひ整備してほしい。</p>	<p>○センター試験の結果、難関国公立、私立大学への進学実績から進路指導の成果が表れた。</p> <p>○夏期講習の実施の実績や、生徒の参加数、授業中の講習実績、センター対策の土曜講座、小論文・提出課題の指導、面接指導等進路支援活動に充実が見られた。</p> <p>○今年度も校内模擬試験の結果をもとに進学支援のための職員研修を実施し、スキルの向上につなげた。</p>	<p>○3学年担任の進路指導の研修を行い、高い目標を目指した生徒の進路実現に向け準備していく。</p> <p>○生徒学力調査の結果の検証を行い、また、スタディールサポートの効果的な活用により、学習環境の向上と生徒の進路意識の向上に向けた取り組みを継続する。</p>
4	地域等との協働	<p>○地域に開かれた学校としての取組をさらに進め、地域との協働により、学校・地域共によりよい環境を整える。</p>	<p>○学校防災活動マニュアルの実効性を高め、防災訓練等を適切に実施することにより、生徒・教職員の防災意識を高め、地域と連携した防災体制を整備する。</p> <p>○地域住民との触れ合いや世代を超えた交流を通して、地域社会の一員としての自覚と責任を培い、地域貢献活動の継続と充実を図る。</p>	<p>○計画的、組織的に防災教育を推進し、防災訓練を年3回実施する。居住地域ごとの帰宅生徒名簿を作成した地域ごとの集会訓練と、防災マニュアルに基づいた避難訓練を実施する。</p> <p>○年2回春と秋に地域貢献デーを設定し、自発的な公共心を養う。</p> <p>○近隣団体等との世代間交流を通じて、地域の一員であることの自覚を持たせる。</p>	<p>○「地域から助けられる」存在としてではなく「地域を助ける」立場という観点での地域と連携した防災対策を策定するとともに、体験を重視した実践的な防災訓練を行うことができたか。</p> <p>○地域の活動に生徒が積極的に参加したか。(参加回数及び参加人数)</p>	<p>○5月(全校生徒829名参加)及び10月(1・2学年生徒554名参加)の2回にわたり、地域貢献デーとして地域清掃活動に取り組んだ。</p> <p>○3月に、いちょうの集いとして湘南台老人クラブとのグラウンドゴルフを行い、世代間交流によって、生徒に地域社会の一員としての自覚を持たせることができた。</p>	<p>○地域貢献デーにおいて、活動場所の見直しとより丁寧な清掃活動を行い、より効果的な地域貢献活動の再検討を行う。</p> <p>○いちょうの集いは、参加人数を絞ることによってより濃密に地域の方々との関わりを持つようになったが、次年度以降は生徒数を増員することで、その機会を拡大したい。</p>	<p>○地域でのボランティア活動について、ただするのではなく、生徒の「気付き」を引き出せるような指導を行うことが必要ではないか。</p> <p>○ボランティア部等は積極的に地域の行事に参加しているが、他の生徒にも波及するとよいのではないか。</p>	<p>○地域貢献デーは全校による取り組みができ、地域社会との協働が進められた。</p> <p>○部活動やボランティア活動が年間を通して充実して行われ、生徒に地域社会の一員としての生徒にも自覚を強く持たせることができた。</p>	<p>○地域貢献デーの活動場所の見直し等、より効果的な地域貢献活動の実施に向けて再検討を行う。</p> <p>○いちょうの集いをはじめとする地域との連携行事は部活動やHR活動を通して、より活発にしていこう計画を検討する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>○保護者や周辺地域による、本校の教育活動に対する理解を深化させる。</p> <p>○保護者の教育ニーズを的確に把握し、協働と信頼に根ざした学校づくりを推進する。</p>	<p>○生徒・保護者・県民から信頼される学校づくりのため、不祥事ゼロプログラムに基づき、事故・不祥事防止に向けた実効性のある取組を推進する。</p> <p>○自主的・自立的な学校運営や学校評価システムの改善・充実を図るとともに、地域との協働による学校づくりを推進する。</p>	<p>○個人情報の管理徹底や公費・私費の適正な執行等、事故・不祥事防止に努める。</p> <p>○いじめ・体罰のない安心で安全な学校づくりを推進する。</p> <p>○成績処理、入学者選抜等の業務システムの改善を図り、正確かつ適正な業務を遂行し、保護者や県民の信頼をえられるよう努める。</p> <p>○ホームページを適切に更新し、保護者や地域・県民にとってわかりやすい丁寧な内容に充実させる。</p> <p>○保護者、地域との連携を深め、多くの意見を学校運営に反映させる。</p>	<p>○成績処理、入学者選抜等の業務システムの改善を図り、正確かつ適正な業務を遂行することができたか。</p> <p>○体罰、いじめ等のない人権に配慮した学校運営に取り組むことができたか。</p> <p>○ホームページを随時更新し、開かれた学校として評価されたか。</p> <p>○PTAや地域と連携・協働した教育環境整備の取組が推進されたか。(実施状況)</p>	<p>○チェックシートを用いた定期的な研修会を実施し、事故防止に対する職員の意識啓発を継続的に行うことによって、公費・私費の執行や、個人情報の管理等、不祥事ゼロを徹底することができた。</p> <p>○ホームページのデザインを一新し、各行事の告知や詳細事項、部活動の結果などを速やかに更新するよう心がけた。1月末時点でページアクセスは65,000件に達した。</p>	<p>○今後も職員への意識啓発を継続し、具体的な事例を提示しつつ、個人情報の管理をはじめ、会計業務等において適正かつ適切に業務が遂行できるよう声かけを行う。</p> <p>○ホームページ内に生徒や保護者に向けたページ等を加えることや、告知・報告等を分かりやすく速やかに行い、内容の充実をさらに図っていく。</p>	<p>○湘南台高校の生徒のよさが地域にしみわたっている。</p>	<p>○定期的な事故・不祥事防止研修会は年間を通して実施された。</p> <p>○ホームページのデザイン、内容を改良し、各行事の活動報告や部活動の結果などを速やかに更新し、保護者や地域に対して開かれた学校としての発信ができた。</p>	<p>○今後も職員への意識啓発を継続し、具体的な事例を提示しつつ、個人情報の管理をはじめ、会計業務等において適正かつ適切に業務が遂行できるよう声かけを行う。</p> <p>○ホームページ内に生徒や保護者に向けたページ等に加え、一層の充実を図り、アクセス数の10万件以上を目標とする。</p>